

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

校訓「英知・至誠」に基づき、新しい時代を担う英知と、豊かな人間性・創造性・社会性を身につけた人材を育成し、地域に愛される学校

教育方針 1. 将来を支える学習指導の充実 2. 魅力ある学校生活の創造  
3. 将来を支えるきめ細やかな生徒指導 4. 人権感覚豊かな人格の育成

## 2 中期的目標

- 1 授業改善と授業力向上に取組み、「確かな学力」を身につけ、夢を実現する力を育成する教育活動
- (1) 組織的に授業力向上と改善に取組み「主体的、対話的で深い学び」の授業を実践し、生徒の学力を向上させる。
- ア 「学び合い、学び続ける生徒の育成」のため、全教員で「主体的、対話的で深い学び」の授業を行う
- イ 授業満足度の向上と、わかりやすい授業のため、全教員で ICT を活用した授業を行う
- 生徒「進路実現のための学力向上満足度」を向上させる [H29: 58.7% H30: 56.7% R01: 53.9% 令和4年度: 60%]
- (2) 3か年を見通した進路指導計画、生き方に関する学習機会を提供し、主体的かつ積極的に社会に参加する力を育成し、満足度の高い進路を実現する。
- 生徒、保護者「進路指導に関する項目の満足度」を向上させる
- [H29: 72.5%、51.5% H30: 71.8%、68.7% R01: 80.3%、73.2% 令和4年度: 85%、80%]
- 就職内定率 [100% 維持]
- (3) 講習・補習・外部模試の計画的な実施と、体系的なキャリア教育の推進により、大学進学希望者の目標・夢を実現させる。
- 国公立・関関同立産近甲龍摂神追桃外 合格者数の増加する [H29: 35人 H30: 10人 R01: 24人 令和4年度: 30人]
- 2 自律心を高める生徒指導と地域と連携した教育活動と魅力ある特別活動に取組み、地域・保護者に信頼される学校づくり
- (1) 自律を促す指導を粘り強く行い、生徒の規範意識を醸成するとともに、教育相談体制や生徒支援体制の満足度を向上させる。
- 生徒「学校の規則を、きっちり守っている」を維持する [H29: 87.1% H30: 86.6% R01: 89.6% 令和4年度: 維持]
- 生徒「教育相談に関する満足度」を向上させる [H29: 58.4% H30: 66% R01: 71.4% 令和4年度: 75%]
- (2) 生徒の自己有用感の醸成し、帰属意識を高め、安心できる人間関係の構築するため特別活動(行事、部活動等)を充実させ、学校満足度を向上する。
- 生徒「学校行事に積極的に参加している」を維持、向上させる [H29: 81% H30: 78% R01: 82.7% 令和4年度: 85%]
- (3) 保護者及び地域との連携した活動を推進するとともに、学校ホームページや文書・新聞等の文書媒体により学校の情報発信を行う。
- 保護者「子どもは楽しそうに学校生活を送っている」を維持する [H29: 74.8% H30: 82.3% R01: 81.5% 令和4年度: 85%]
- 生徒「地域との連携の取組みを推進する生徒の参加取組」を定着させる (新規) [令和4年度: 10回以上]
- (4) 国際的な視野を育むため、英語教育の充実を図るとともに、海外修学旅行(台湾)を通じて、コミュニケーション能力を育てる。
- ア 海外修学旅行の実施と国際理解教育に取り組み、文化や習慣の違いを理解し、尊重する精神を育む
- イ 講習、資格試験、外部行事への参加などにより、英語教育を充実させる
- 生徒「修学旅行の満足度」(新規)[80%以上]、英検受験者数(希望者)を増加させる [R01: 119人 令和4年度: 140人]
- 3 人権尊重の教育を推進するとともに、「ともに学びともに育つ」教育の実践により、すべての生徒に安全・安心な教育環境の構築
- (1) 共生推進教室を組織的な校内体制で推進するとともに、障がいのある生徒の自立を支援する。
- ア 共生推進教室での充実した自立活動の取組みと職場実習の実施により、生徒全員の進路実現
- イ 障がい者理解教育研修を推進し、すべての教職員が共生推進教室の取組みに関わる
- 進路実現[100% 維持] 教員研修の実施[年2回]
- (2) 教職員人権教育研修を定期的実施するとともに、生徒への人権教育を推進する。
- 教職員年3回の人権研修肯定率 (新規)[令和4年度: 70%]
- 生徒「人権等の学習機会がある」を向上させる [H29: 64.4% H30: 67.8% R01: 74.7% 令和4年度: 80%]
- 4 地域との連携を強め、生徒主体の学校運営を推進し学校力の向上
- (1) 学校経営計画推進に向け各組織のリーダーのマネジメント能力の向上、学校経営に教職員が参画する PDCA サイクルを推進する。
- 教職員「学校運営に教職員の意見が反映されている」を向上させる [H29: 46.3% H30: 34.4% R01: 41.0% 令和4年度: 60%]
- (2) 教職員研修の充実を図り教員の指導力を向上させる。
- 教職員「教科指導や人権研修などの校内研修は、役立っている」を向上させる [H29: 59.3% H30: 43.8% R01: 50.8% 令和4年度: 70%]
- (3) 学校の広報と情報発信を充実する。
- 保護者「学校からの連絡文書は届いている」、「HPを見て情報を得ている」を向上させる
- [H29: 76%、34.9% H30: 74.5%、46.3% R01: 73.8%、44.7% 令和4年度: 80%、55%]

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>○〔生徒〕「学校の規則を守る」〔肯定率 86%〕生徒の規範意識の高さは定着した。今後も適切な指導を継続し、社会に出てから規則や守りごとを自分で考え、行動できるように育成する。</p> <p>○〔生徒・保護者〕学校設備（トイレ、老朽化）に関して不満がある。学校予算単体では実現困難なので、皆が清潔に利用するよう心掛けてもらう。</p> <p>○〔生徒〕「入学して良かった」最近では70%程度である。今後も、「入って良かった」と生徒が思えるために、学習指導、部活、行事など特別活動を充実させる。</p> <p>○〔保護者〕「学校のHPや校長ブログ」を見ているが15pt向上。今後も定期的でニーズにあった情報発信を継続していく。</p> <p>○〔生徒〕「進路指導の取り組み」の肯定率が昨年度から約80%である。探究的な取り組みが評価されているので、進路希望と結びつくよう、学習指導を充実させる。</p> <p>○〔教職員〕「部活動の活性化の工夫」20pt。「生徒の教育環境の整備」25ptなど先生の教育活動の顕著な成果があり、協働意識が良くなってきていると評価できる。「校長は学校運営について考えを明らかにしている」は87%と極めて高い。</p>	<p>〔第1回7月28日〕</p> <p>○進学実績の向上など、教育活動の成果がでている。継続をする。</p> <p>○遅刻は少ないと評価するが、進路や成績につながる指導なので、きめ細やかにする。</p> <p>○オンライン学習は、家庭等での予復習支援に利用できるのでの研究をする。</p> <p>〔第2回目11月20日〕</p> <p>○コロナ禍で大変だが、生徒の中学訪問は広報と自己肯定感醸成により取り組みである。</p> <p>○新学校パンフレットの出来もよい。キャリア教育も成果がでている。</p> <p>○工夫された学校祭で生徒の様子などから、生徒の満足度、楽しんでいることはよい。</p> <p>〔第3回2月11日〕</p> <p>○総合的な探究の時間での進学指導の取り組みはよい。継続するように。</p> <p>○人権と共生を柱にした教育活動さらに進めるように。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学力・夢を実現する教育活動	(1)「主体的、対話的で深い学び」の推進	ア 授業力向上委員会を置き、授業力向上について取り組み、「だいたい教育ビジョン」と連携し、授業改善に取り組む。	ア 「主体的、対話的で深い学び」やICTを活用した授業を実施し、生徒「授業アンケート生徒意識」を3.2にする。(R01:3.15)	ア 1回目 3.23、2回目 3.19( ) 授業改善の取り組みが進められているが、コロナ禍のため、中学訪問や「だいたい教育ビジョン」との連携は不十分であった。
	(2)体系的なキャリア教育の推進	イ LHR、「総合的な探求の時間」において進路や生き方について考える体系的な進路計画による指導する。	イ 進路や生き方の考える機会の満足度80%以上を維持する。(R01:80.3%)	イ 78.4%と微減だが高水準。各学年で取り組みを継続する。(○)探究的な取り組みができています。PDCAを行い、取り組みの体系化を進める。
	(3)普通科専門コースの授業内容や講習等を充実させ、進路実現の満足度の向上	ウ 専門コースのみならず総合系も含め授業内容の充実。	ウ 選択科目の項目の肯定率85%以上を維持する。(R01:85.2%)	ウ 75% 普通科専門コース制となり、選択科目減と1学期でのガイダンス時間の不足が原因。( )
		エ 進路指導部を中心に講習・補習・模試の計画を立案、実施。	エ 学年指定のない講習等で学年を超えるなど学習を提供する。希望者対象の外部模試の受験者を前年度より増とする。(R01:276人)	エ 休業が影響して長期休業期間がなくなったが、夏季休業前後から英数国で7講座実施。(○)81人参加。全国学校休業の影響があり模試220人と実質はほぼ同数(○)
		オ 英検受験を推奨し英語教育の推進を図る。(人文・英語発展専門コースは全員受験)	オ 英検受験者数を前年度より増とする。(R01:119人)	オ 2回目46人、3回目52人(○)(1回目中止)増加傾向にあるが合格率向上が課題。

## 府立緑風冠高等学校

<p>2 保護者・地域から信頼される学校づくり</p>	<p>(1) 生徒の規範意識を高め、学校生活に主体的に取り組む姿勢を醸成</p> <p>(2) 支援体制、教育相談体制の充実</p> <p>(3) 特別活動等を通じた生徒の自己有用感の醸成と、集団への帰属意識の向上</p> <p>(4) 生徒の活躍の場をつくり、保護者及び地域との連携</p> <p>(5) 国際理解教育と海外修学旅行の実施</p>	<p>ア 教員全員による生徒指導体制を推進するとともに、外部講師による薬物乱用防止教室等の生徒指導講演会を実施する。</p> <p>イ 遅刻防止指導、自転車マナー指導及び雨天時レインコート使用を継続する。</p> <p>ウ 要支援生徒について支援教育コーディネーター、担任等が連携した支援体制を構築する。教育相談委員会、担任、SC、SSWが連携した教育相談体制の充実を図る。</p> <p>エ 担当の分掌、顧問による働きかけの充実や強化による委員会活動、生徒会活動、部活動を充実する。</p> <p>オ・保護者、地域への情報発信を充実する。</p> <p>・学校広報に生徒の活躍の場を設ける。</p> <p>・生徒の地域の事業等への参加、保育・小・中との交流を行う。</p> <p>カ 海外修学旅行や国際理解教育により、文化や習慣の違いを理解し、尊重する姿勢を育む取り組みをする。</p>	<p>ア 生徒が学校の指導規則を守る項目の高い肯定率を維持する。(R01:89.6%)</p> <p>イ ・登校時遅刻を前年度より30%減少させる。(R01:1,632件) ・定期的な登校指導を実施する。</p> <p>ウ 生徒の教育相談に関する項目における満足度を75%以上にする。(R01:72.4%)</p> <p>エ ・クラス活動や学校行事参加へ積極的に参加する肯定率を85%にする。(R01:82.7%) ・部活動加入率52.4%を55%にする。</p> <p>オ・保護者の学校の相談満足度を73%以上にする。(R01:71.9%) ・学校説明会参加中学生600人以上を維持する。 ・説明会、地域交流への生徒の参加回数10回以上する。(新規)</p> <p>カ 修学旅行の満足度80%以上をめざす。(新規)</p>	<p>ア 85.5%と微減ながら、平素のきめ細やかな指導の成果で高水準を維持している。(○)</p> <p>イ (R02:1,491件)30%減は達成できず昨年と同水準。( ) あいさつ運動の継続をする。</p> <p>ウ 68.7% 目標は未達成。( ) 教育相談委員会での取組みの教職員全体化を進める必要がある。</p> <p>エ 多くの生徒会行事が中止・変更になった影響があるが79.8%。(○) ・1年生運動部員増加で部活動の加入率は上昇した59.6%。(○)</p> <p>オ 懇談期間は定期的に設定した。保護者満足度は72.2%と微増。( ) ・11月371人参加と増加、12月中止、総参加数は減。(○) ・地域連携はほぼできなかったが、母校14中学訪問実施。(○)</p> <p>カ コロナ禍により、台湾修学旅行は中止。( - )</p>
<p>3 人権尊重の教育と、「ともに学びともに育つ」教育の実践</p>	<p>(1) 共生推進教室生徒の自立支援</p> <p>(2) 地域と連携した教育活動の推進</p>	<p>ア・個別の教育支援計画に基づいた自立を支援する教育を全教員で推進する。 ・卒業後の進路実現に向けた職場実習等のキャリアガイダンスの充実、教職員対象の障がい者理解教育を促進する。</p> <p>イ 教職員の人権研修と生徒の人権HRを推進する。</p>	<p>ア・共生推進教室3年生の進路実現100%維持。 ・むらの高等支援学校と生徒交流の実施と教員の相互交流研修の実施参加人数12人以上を維持する。(R01:12人) ・入学生を募集定員以上にする。</p> <p>イ・人権教育への取り組み回数と満足度 ・教職員対象の研修を3回実施する。 ・生徒の人権に関する肯定率を70%以上にする。(R01:67.8%)</p>	<p>ア 100%を達成。(○) ・参加7人。(○)コロナ対策で制限されたが実施できた。 ・入学者数は1名と定員に満たなかった。( )</p> <p>イ 教員全体研修は10/9一回。2地域のFWは予定通り実施。(○) ・教員対象研修は1回実施。肯定的な回答が7割以上。(○) ・1年生の人権講演90%。内容の工夫で高評価。人権教育への肯定率は全体では74.3%( )</p>
<p>4 学校力の向上</p>	<p>(1) 各組織のリーダーのマネジメント能力の向上</p> <p>(2) 教師力の向上</p> <p>(3) 生徒主体の学校活動の推進と情報発信の充実</p>	<p>ア 各組織のリーダーにおける学校経営計画推進に向けたPDCAサイクルによる取り組みを推進する。</p> <p>イ・充実した教職員研修を実施する。 ・個人情報の適正な管理を徹底する。</p> <p>・外部人材活用、校内連携の更なる促進、定時退庁日、ノークラブデー等で効率的な時間の活用をめざし、時間外勤務の縮減に取り組む。</p> <p>ウ 生徒主体の活動を活性化し、ホームページ等における広報を充実する。</p>	<p>ア 学校教育自己診断における教職員の教育活動の評価と次年度への計画に関する肯定を60%以上にする。(R01:55.7%)</p> <p>イ・校内研修(支援教育、人権等)充実や外部の研修を通じて教員力の向上を図り、教員の研修の肯定率の向上を60%以上にする。(R01:50.8%) ・80時間/月以上の超過勤務者を20%減少させる。(R01:41人)</p> <p>ウ ホームページ、ブログを積極的に更新し、学校通信の発行により、保護者の学校情報における項目の肯定率を50%以上にする。(R01:44.7%)</p>	<p>ア 55.6%と同水準。改善しているが今後も組織的な取り組みが必要。( )</p> <p>イ 63%と目標を達成。人権教育の推進は本校の柱なので継続して取り組む。( ) ・2カ月間の学校休業期間の影響はあるものの、効率的な時間の活用が進み、25人と減少した( )</p> <p>ウ 59.6% 今年度はコロナ情報など、頻りに発信したことが成果に繋がった。( ) 今後は生徒の活躍している姿の見える広報を行う。</p>